

産学連携の新たな学位プログラムが始まります。

あなたの**知**を 博士(工学)に変えます。
キャリアアップに繋がります。

リスク・レジリエンス工学学位プログラムは
社会人を積極的に受け入れます。

現代社会にひそむ無数の「リスク」
有事からしなやかに復旧する「レジリエンス」

リスク・レジリエンス工学学位プログラムでは、
リスクを分析し、レジリエンス社会のために
活用する人材を養成します。

リスク・レジリエンス工学学位プログラムは

- 現代社会で必要とされる4つの研究分野

リスク・レジリエンス基盤

情報システム・セキュリティ

都市防災・社会レジリエンス

環境・エネルギーシステム

- 自立した研究者としての研究能力を養成
- 高度専門職業人としての研究能力と豊かな学識を養成
- 博士後期課程(標準3年間)〈学位:博士(工学)〉
- 修了後には大学の客員教員や非常勤講師として人材を育成

学位プログラム:達成すべき能力が明示され、それを修得できるように体系的に設計された新しい教育プログラム

協働大学院方式によるハイブリッドな教育システム

本学の専任教員に加え、レジリエンス研究教育推進コンソーシアム(下記)に
参画する12の企業・研究機関の専門家が貴方の知を涵養します。

協働大学院方式

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム



在学生の声

産業技術総合研究所

高橋 昭彦 さん(博士後期課程在学中)



公的研究機関の研究職として長年勤務しており、ここ数年は、自動車
ヒューマンファクター関連の仕事にもつばら携わってききましたが、業務
経験の積み上げだけで将来課題に対応する知識基盤と提案力を涵養
することに限界を感じるようになり、進学を決意しました。この上で、コンソーシアム参画機関と
して直属上司が客員教員であることは、非常に幸運でした。アカデミックな研究と業務としての研
究は必ずしも方向性が一致しない面もありますが、上司の理解のもと相談しながら、業務遂行を
通して博士課程の研究を進めることができる環境にあります。また進学により普段はあまり縁の
ない分野に触れる機会が増えたのはやはり刺激的であり、自分の業務の立ち位置を再確認できる
という意味でも、仕事にフィードバックできます。リスク工学・レジリエンス工学は社会性の高い
分野であり、ここで得られた知識と経験を背景として、キャリアの幅を広げたいと考えています。

本プログラム独自の社会人を応援するコンテンツ

社会人のための入学試験

- 社会経験を踏まえた社会人専用の**社会人特別選抜**を実施します。
- 試験会場はつくばと東京から選べます。
- 修士の学位を有していない方も修士相当の学力と業績があると認められれば出願ができます。

長期・短期の学修計画

- 忙しい社会人の方は**長期履修制度**を利用すれば、トータルの学費負担は変わらず学修期間を最大5年間に延長できます。
- 本プログラムが定める一定の研究業績があれば**早期修了プログラム**により最短1年間で博士号を取得することも可能です。

学ぶ場所を選べる

- 指導教員が貴方の機関の協働大学院教員なら、**貴方の機関**で研究指導を受けられます。
- 東京キャンパス常駐の担当教員を指名すれば夜間・土曜日に東京で研究指導を受けられるほか、**昼夜開講プログラム**を申請すれば夜間・土曜日に東京で授業も受けられます。

実践的なカリキュラム

- 学修効果が高い問題解決型学習 (PBL (Project-Based Learning)) を中心としたカリキュラム
- 座学は専門科目のほか俯瞰力を養成できる様々な科目を聴講できます。
- コンソーシアム参画機関にて2週間～3か月の**インターンシップ実習**を受けることもできます。

学修計画を改善できる

- 自ら学修の達成度を確認できるほか、年2回、個別面談により3名以上の教員から**学修達成度評価**を受けられます。一人ひとりの学修目標に応じて、学修計画を改善できます。

多様な研究指導体制

- 研究指導は、**複数指導体制**により適切な指導を受けることができます。また、大学の専任教員と企業・研究機関の研究者の両方から指導を受けることもできます。

豊富な 応援制度

- 海外学会等参加支援**: 海外学会等への参加に係る旅費を支援 ※事前審査有
- 若手研究者育成プログラム**: 研究課題に対し研究費を補助 ※事前審査有
- TA/RA制度**: 授業補助 (TA)、研究補助 (RA) による経済的支援 ※勤務先修業規定確認

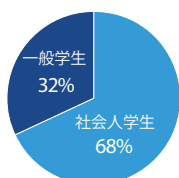
〈就学に必要な経費〉検定料: 30,000円 入学料: 282,000円 授業料: 535,800円 (年額)

民間奨学団体や地方公共団体による奨学金制度があるほか、ご自身の機関にも支援制度がある場合があります。

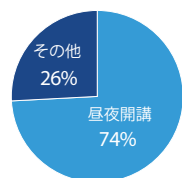
家計と学業を判断基準とした、入学金・授業料免除制度もあります。※勤務先就業規程確認のこと。

修了生に占める社会人学生の割合

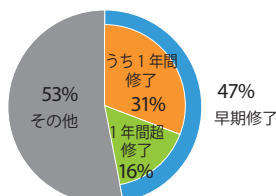
博士後期課程



社会人学生のうち
昼夜開講プログラム
適用者の割合



社会人学生のうち
早期修了プログラム適用者の割合



※2014-2018年度実績。長期履修制度適用希望者なし。

修了生の声

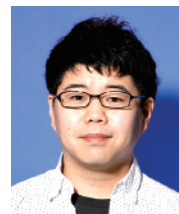
(株)ディー・エヌ・エー

長谷川 大輔さん (2019年3月博士後期課程修了)

私が社会人から大学院に入学したのは、地域の交通不全という社会課題の解決に対して研究によって貢献したいという思いがあり、その活動によって自分のキャリアを広げることに繋がると考えたのがきっかけです。

在学中は地域の特徴に合わせた地域公共交通の適正化を研究し、それに係わる都市計画・地域公共交通の専門的な知識が深まっただけでなく、複数の研究プロジェクトを推進させるマネジメント能力も鍛えられました。また、他の学生の発表を聞く機会が多く、研究の視野を広げることに繋がりました。

修了後はAIを使ったタクシーの走行ルート効率化や、オンデマンド交通などの新しい交通サービスを支えるアルゴリズム構築の業務に取り組んでおり、研究で得た専門的知識や、研究を推進するために得た実験計画・実行・分析のサイクルを回す事、得られるデータの地域的な特徴を見出すための空間解析のスキルが自身のキャリアアップに繋がっています。



博士前期課程もあります。

詳しくはプログラムサイトをご覧ください。

<http://www.risk.tsukuba.ac.jp/>

